

1. AI IoT Robotics Automotive部会
2. オープンCOBOLソリューション部会
3. 開発基盤部会
4. データベース部会
5. 東海支部
6. ビジネス&教育ソリューション部会
7. 分散コンピューティング部会



# 「データベース部会」のご紹介

---

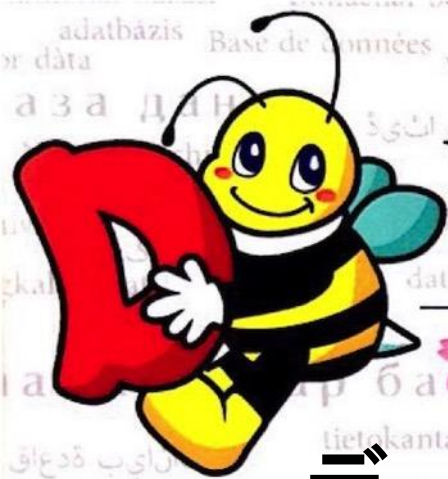
データベース部会リーダー

**溝口 則行**

T I S株式会社

**鵜川 徹**

株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー



# データベース部会とは

OSS Consortium <http://www.osscons.jp>

データベース領域でのオープンソースの更なる発展促進を図る 2015年6月設立(5年目)

- 特定のプロダクトにとらわれず、第三者的な立場で 様々なデータベースの情報を収集し、ユーザ・ベンダにフィードバックする機会を提供する。
- データベースの垣根を越えたイベント等を開催する

わかりやすく言えば、  
いろんなOSSのDBと一緒に勉強しませんか？  
…という集まり

# ➤ DBMSのトレンド <https://db-engines.com/en/ranking>

**DB-ENGINES**



Learn why you need a purpose-built time series database.

[DOWNLOAD](#)

Knowledge Base of Relational and NoSQL Database Management Systems

[Home](#) | [DB-Engines Ranking](#) | [Systems](#) | [Encyclopedia](#) | [Blog](#) | [Search](#) |

Featured Products: [Neo4j](#) [Couchbase](#) [DataStax](#) [Redis](#) [AllegroGraph](#)

350 systems in ranking, June 2019

Select a

- Compl
- Relati
- Key-v
- Docu
- Graph

Rank	Rank			DBMS	Database Model	Score		
	Jun 2019	May 2019	Jun 2018			Jun 2019	May 2019	Jun 2018
1.	1.	1.		Oracle	Relational, Multi-model	1299.21	+13.67	-12.04
2.	2.	2.		MySQL	Relational, Multi-model	1223.63	+4.67	-10.06
3.	3.	3.		Microsoft SQL Server	Relational, Multi-model	1087.76	+15.57	+0.03
4.	4.	4.		PostgreSQL	Relational, Multi-model	476.62	-2.27	+65.95
5.	5.	5.		MongoDB	Document	403.90	-4.17	+60.12
6.	6.	6.		IBM Db2	Relational, Multi-model	172.20	-2.24	-13.44
7.	7.	8.		Elasticsearch	Search engine, Multi-model	148.82	+0.20	+17.78
8.	8.	7.		Redis	Key-value, Multi-model	146.13	-2.28	+9.83
9.	9.	9.		Microsoft Access	Relational	141.01	-2.77	+10.02
10.	10.	10.		Cassandra	Wide column	125.18	-0.54	+5.97
11.	11.	11.		SQLite	Relational	124.89	+1.99	+10.63
12.	12.	13.		MariaDB	Relational, Multi-model	85.20	-1.32	+19.35
13.	13.	14.		Splunk	Search engine	84.62	-0.62	+18.84
14.	14.	18.		Hive	Relational	79.06	+1.16	+21.73

## ➤ 活動内容

---

### • 部会

- ✓ 隔月1回程度の部会

### • イベント

- ✓ データベース比較セミナー
- ✓ その他オープンセミナー(ハンズオンセミナー)
- ✓ オープンソースカンファレンス(OSC)

### • 執筆活動

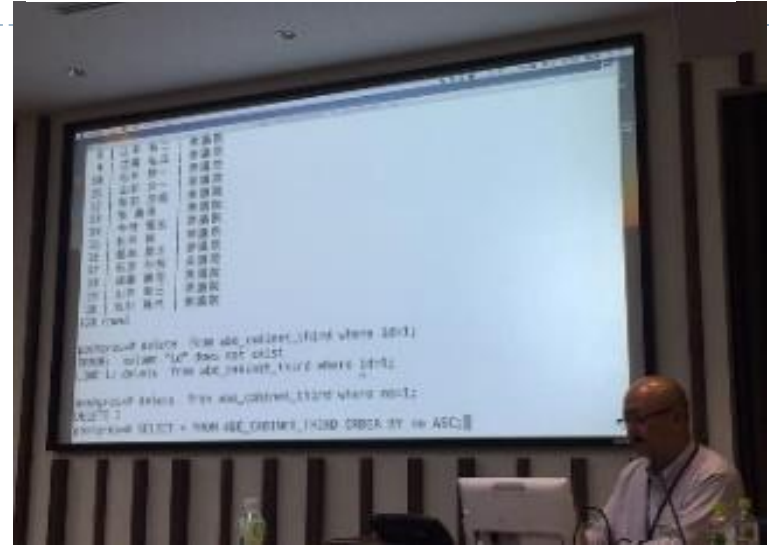
- ✓ [gihyo.jp](http://gihyo.jp)への連載  
(2015年9月～今年7月で**47**回目の連載)

# ➤ 活動内容：イベント

## MySQL on Azure ハンズオン



## PostgreSQL on Azure 超入門



## 第1回オープンソースデータベース比較セミナー

Redis

PostgreSQL

MySQL



# ➤ 活動内容：イベント

•DB関連のセミナーを開催

## 第2回オープンソースデータベース比較セミナー

### PostgreSQL

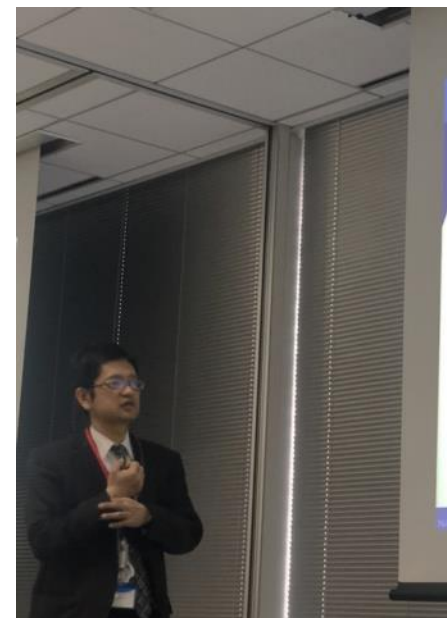
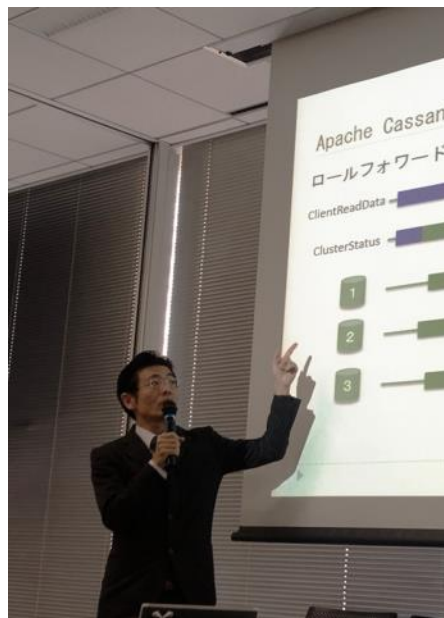
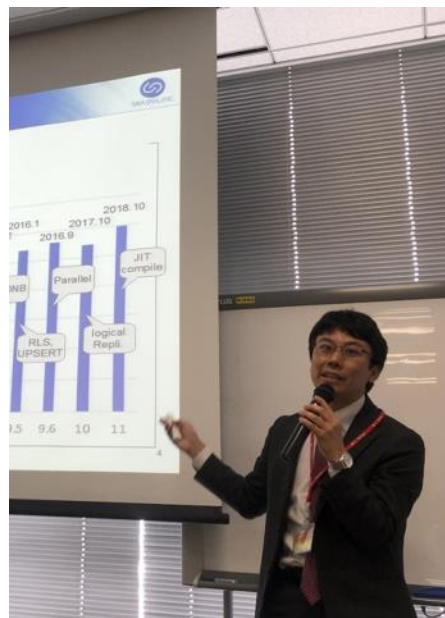


### MySQL



# ➤ 活動内容：イベント

- 第3回データベース比較セミナー(4/19開催)  
分散コンピューティング部会と共催





# オープンソースカンファレンス参加



# Facebook



# ▶ gihyo.jp の連載

人気OSSDBの最新情報を連載

- MySQL
- PostgreSQL
- NoSQL
  - Cassandra
  - MongoDB
  - Spark
  - Riak

OSSDB 取り取り時報

検索

The screenshot shows the gihyo.jp website interface. At the top, there is a navigation bar with links for 'お問い合わせ' (Contact), '会社案内' (Company Info), and a search bar with the text '検索したい用語を入力' (Enter the term you want to search) and a '検索' (Search) button. Below the navigation bar, there are tabs for 'デベロッパ' (Developer), 'アドミニストレータ' (Administrator), 'WEB+デザイン' (Web+Design), and 'ライフスタイル' (Lifestyle). The main content area features the article title 'OSSデータベース取り取り時報' (OSS Database Take-Take Time) and the subtitle '第45回 OSSコンソーシアム 第3回データベース比較セミナー開催, MySQL 8.0.16でのCHECK制約追加, PostgreSQL関連ニュース' (45th OSS Consortium 3rd Database Comparison Seminar Held, MySQL 8.0.16 CHECK Constraint Addition, PostgreSQL Related News). The article is dated '2019年5月7日' (May 7, 2019) and is by '梶山隆輔, 溝口則行' (Takafumi Kajiyama, Norihiro Mizuguchi). There are social media sharing buttons for Twitter and a 'B! 6' badge. A sidebar on the right contains a 'Qihyo.jp' logo and a list of categories: 'デベロッパ', 'アドミニストレータ', 'WEB+デザイン', 'ライフスタイル', 'サイエンス', and 'ニュース&レポート'. Below this is a '書籍案内' (Book Guide) section with links for '書籍案内', '新刊書籍', '書籍ジャンル一覧', '書籍シリーズ一覧', '新刊ピックアップ', 'ロングセラー', and '電腦会議'. At the bottom of the sidebar, there is a '定期刊行物一覧' (List of Regular Publications) with links for 'Software Design' and 'WEB+DB PRESS', and a '電子書籍ストア' (E-book Store) with a link for 'お知らせ' (Notice).

この連載では、OSSコンソーシアム データベース部会のメンバーが、さまざまなオープンソースデータベースの毎月の出来事をお伝えしています。2019年4月はOSSコンソーシアム主催の第3回データベース比較セミナーが開催されました。

The advertisement features a man in a suit with his hands raised in a gesture of surprise or excitement. Overlaid on the image is the text 'このコードがExcelに?!' (This code is for Excel?!). Below the image, there is a link to '開発者のためのドキュメントAPI' (Documentation API for Developers) and the logo for 'DioDocs'.

The advertisement features a blue arrow pointing to the right, with the text '技術評論社の電子書籍はこちら' (Technical Review Company's E-books are here) and the logo for 'Gihyo Digital Publishing'.

The advertisement features the text 'ピックアップ' (Pickup) and '「社の都」発の開発ツールベンダーが時代を超えて開発者の生産性向上を支援～「Toolsの社(ツールのもり)」開催!' (Pickup: Development tool vendors from 'The City of Companies' support developer productivity improvement across eras ~ 'Tools of the Company' event!).

## ▶ 参加企業と得意DB

- ▶ 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
- ▶ TIS株式会社 (部会リーダー)
- ▶ 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー (部会リーダー)
- ▶ 株式会社日立ソリューションズ
- ▶ ユニテックシステム株式会社
- ▶ 株式会社デジタルシープラーニング
- ▶ 日本オラクル株式会社

### 協力企業:

- ▶ 株式会社INTHEFOREST
- ▶ DataStax Inc.
- ▶ 10X Vision株式会社
- ▶ MongoDB Japan



## ➤ 2019年度の予定

---

- ❖ オープンソースカンファレンス(OSC)参加  
OSC 2019 .Enterprise, OSC 2020 Osaka
- ❖ データベース比較セミナー
- ❖ 他部会との連携活動
- ❖ 今期からは部会内での勉強会・情報交換も  
など

## ▶参加対象

---

- ▶ オープンソースデータベースを活用したソリューション、サービスを提供している企業、技術者
  
- ▶ 上記のソリューション、サービスを活用している、又は興味のあるユーザ

**参加企業募集中！**

1. AI IoT Robotics Automotive部会
2. オープンCOBOLソリューション部会
3. 開発基盤部会
4. データベース部会
5. 東海支部
6. ビジネス&教育ソリューション部会
7. 分散コンピューティング部会

# OSSコンソーシアム 東海支部

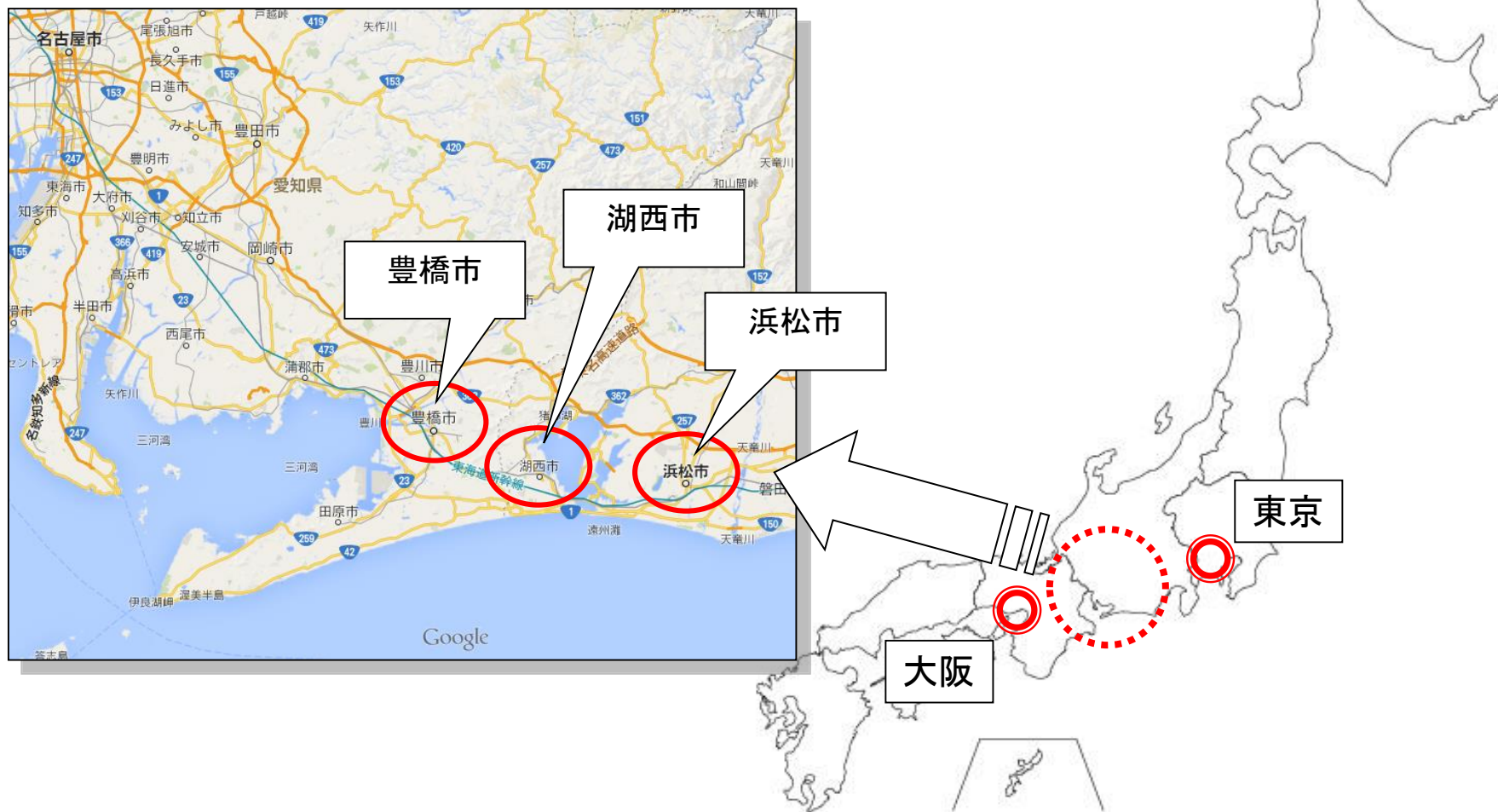


---

(株) パドラック 伊藤憲之

## 主な活動拠点

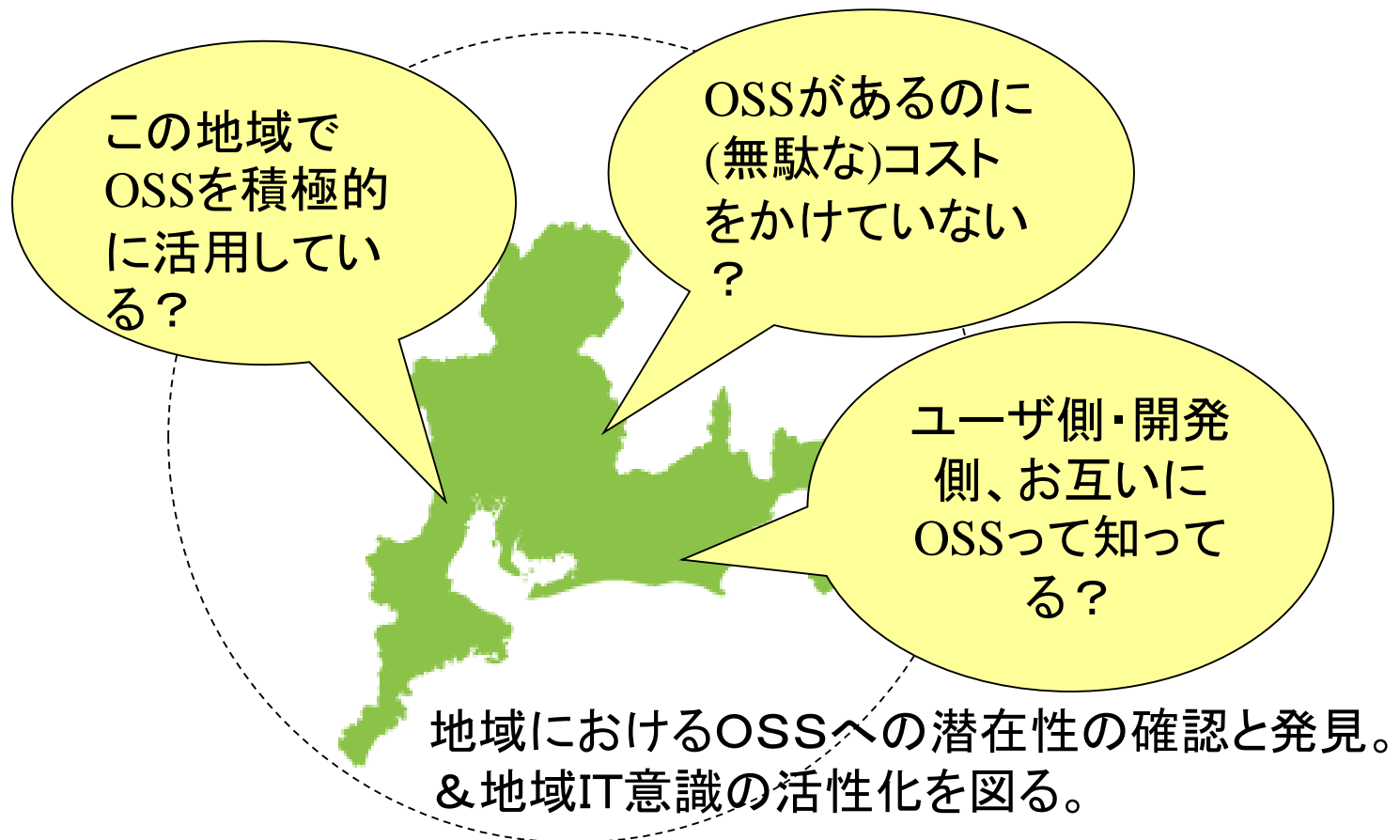
東京～大阪のちょうど真ん中。  
湖西市・浜松市・豊橋市を中心に活動を行っています。





## 活動趣旨

「東海地方におけるオープンソースソフトウェアの普及および利用促進に向けた活動を行う」



## 活動概要

### (1) 目的

- ・東海地方におけるオープンソースソフトウェアの普及  
および利用促進に向けた活動を行う

### (2) 参加対象

- ・オープンソースソフトウェアに興味のある方
- ・オープンソースソフトウェアを利用している方
- ・オープンソースソフトウェアのビジネスを検討している方
- ・オープンソースソフトウェアの情報交換をしたい方

### (3) 活動内容

- ・オープンソースソフトウェア関連セミナーの開催
- ・オープンソースソフトウェア関連イベント紹介
- ・オープンソースソフトウェア利用の相談
- ・「オープン」をキーワードにした地元ITコミュニティの支援

## 活動概要

### (4)活動周期

- ・2ヶ月に1回程度のミーティングで活動
- ・MLおよびWeb上での情報交換

### (5)メリット&成果物

- ・オープンソースソフトウェアについての最新情報の取得
- ・オープンソースソフトウェアに関する自社サービスなどの宣伝
- ・「オープン」をキーとした協業の構築
- ・「オープン」をキーとしたビジネスの発掘

### (6)支部長

#### 支部長

- ・株式会社パドラック 代表取締役 杉本 等

### (7)事務局

- ・株式会社サイエンス・クリエイト 古川達也

## 2018年度の活動

5月26日

主催: オープンデータの見える化を目指せ! HTML5でスマートフォンアプリを作ってみよう! ~Monacaハンズオンセミナー~

アシアル株式会社 岡本雄樹様を講師にお招きして、「Monaca」を使ったスマートフォン開発環境のセットアップから実際にアプリを作成していただくハンズオンセミナーを行いました。



## 2018年度の活動

後援: オープンデータ浜名湖 Night

2月24日、12月22日

講師: 子ども向け「電子部品を使った実験教室」

子ども向けプログラミング学習の一環として、Scratchを使った電子部品制御の講師を行いました。



## 2019年度の活動

起業支援施設スタートアップガレージと連携してOSSセミナーの開催

「オープン」を活用した地域でのIT教育への支援

「オープンデータ浜名湖」など地域コミュニティの活動支援

まずはお問い合わせください。

[tokai-staff@osscons.jp](mailto:tokai-staff@osscons.jp)



ミーティングの見学は無料です。  
積極的に参加活動していただける  
会員を募集！

1. AI IoT Robotics Automotive部会
2. オープンCOBOLソリューション部会
3. 開発基盤部会
4. データベース部会
5. 東海支部
6. **ビジネス&教育ソリューション部会**
7. 分散コンピューティング部会



# OSSコンソーシアム ビジネス&教育ソリューション 部会紹介

株式会社オープンソース・ワークショップ  
永原 篤

---

# 部会活動

---

- 本年度より、ビジネスアプリケーション部会と教育ICT部会が統合され、ビジネス&教育ソリューション部会として活動いたします。
- 統合することにより、ビジネスアプリケーションを中心とする会員企業と教育関係を中心とする会員企業が連携しやすくなることが狙いです。
- それぞれの特徴がでる活動については、ワーキンググループとして活動します。

# 部会活動

---

- OSCやコンソーシアムで行っている無料講師派遣など、イベントを中心に会員企業のOSSソフトウェアを紹介するイベントを増やします。
- OSCでは東京以外へ多く出展の予定、可能なら前日に別途セミナーなどのイベントを実施するなど、企画を作っていきたいです。

# 部会パンフレット

大学向け オープンソース・ソフトウェア活用ガイド

学内システムのオープンソース化 ⊕ シングルサインオン

利用サービス

学生

- ・学内ポータル
- ・ファイル管理
- ・etc

OpenAM  
シングルサインオン

MosP  
勤怠管理

net commons  
CMS・会員サイト

NemakiWare  
ファイル管理

教職員

- ・勤怠管理
- ・CMS
- ・etc

NemakiWareで組織構造と連携したファイル管理  
(特定クラスのためのアクセスや生徒はアップロードし出来ないフォルダなど)

OpenAM  
クラウド・Webアプリへシングルサインオン

MosP  
大学職員の打刻から休暇管理まで対応・TA, SA向けは身分ごとの勤怠管理をサポート

net commons  
【完全スマートフォン対応】学校Webサイト、動画教材、学生ポータル、オンライン試験

NemakiWare  
ファイルサーバより高機能に、拡張可能なファイル管理の仕組みを提供

OSS Consortium  
https://www.osscons.jp/

大学向け オープンソース・ソフトウェア活用ガイド

大学向け オープンソース・ソフトウェア活用ガイド・参加企業紹介

オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社  
https://www.osstech.co.jp/

- ・統合認証
- ・LDAP
- ・ID管理
- ・シングルサインオン

株式会社オープンソース・ワークショップ  
東京都中央区京橋2丁目8番4号  
オックスフォードビル2F  
https://opensource-workshop.jp/

- ・学校Webサイト
- ・学生ポータル
- ・NetCommons 利用サービス(SaaS)
- 当社実績はWebサイトにてご覧いただけます

教育ICT部会の時のパンフレットですが、このような形で、会員企業を紹介する部会パンフレットを作成しようと思います。

OSS Consortium  
https://www.osscons.jp/

# ビジネス&教育ソリューション部会 教育ICTワーキンググループ の紹介

株式会社オープンソース・ワークショップ  
永原 篤

---

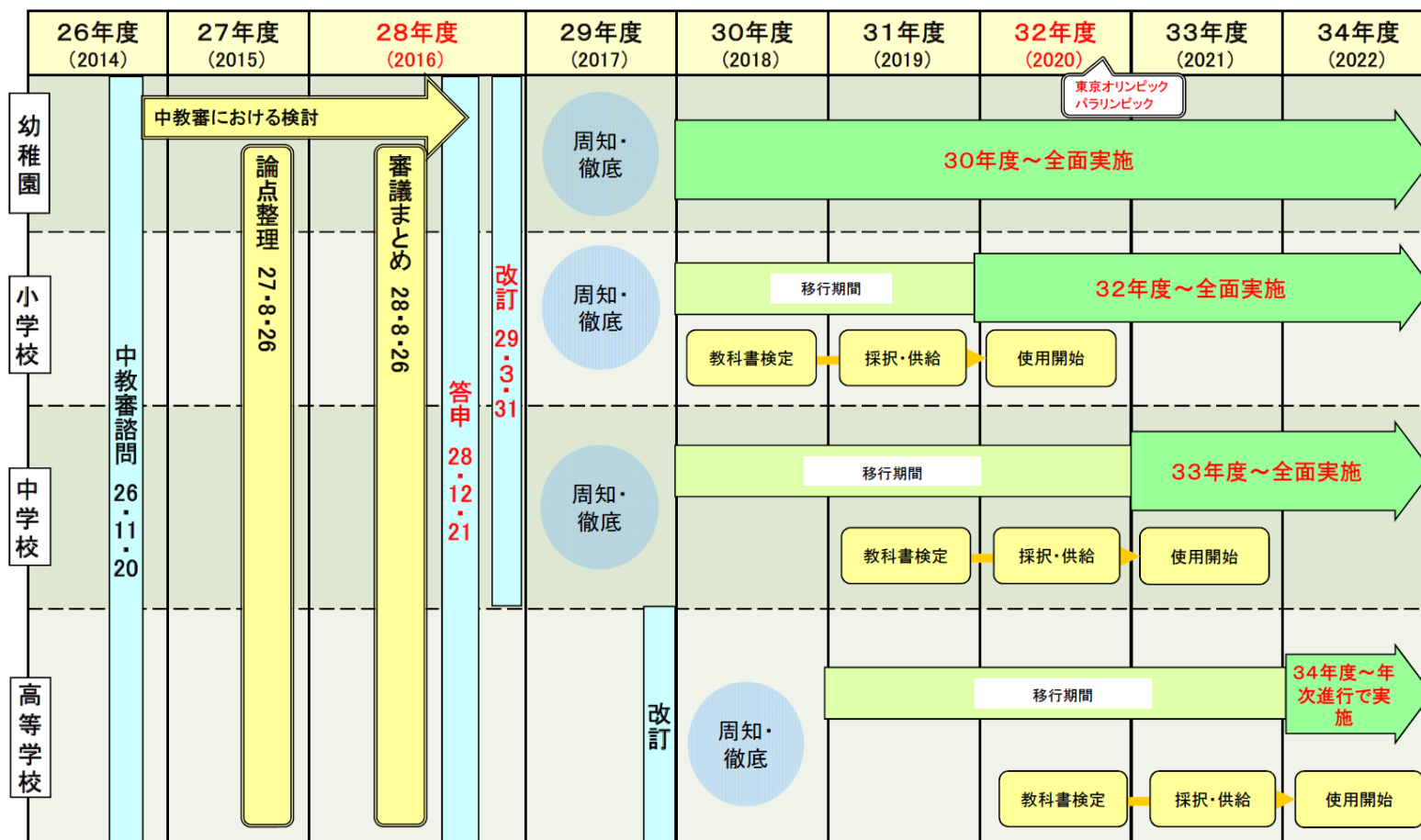
# プログラミング授業

---

- 2020年度から、学校教育が大きく変わります。文部科学省が告示する教育課程の基準である「学習指導要領」が改訂される大きなタイミングになります。
- 次ページ「学習指導要領」の改定スケジュール

# 学習指導要領改訂スケジュール

## 今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール (現時点の進捗を元にしたイメージ)



# プログラミング教育

---

- 今回の学習指導要領の改訂では、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の導入や**プログラミング教育**の充実が図られる。ことになります。



# プログラミング授業

山形新聞 2018年12月25日

荘内日報 2018年12月21日



プログラミングしたドローンを動かす棒を倒す課題に挑戦する生徒  
 〓 鶴岡市・鶴岡工業高

## 鶴岡工業高の授業

**鶴岡** 小型無人機ドローンを動かすプログラミングを、プログラマーから学ぶ授業が19日、鶴岡市の鶴岡工業高（阿部進校長）で開かれ、生徒が機械を制御する仕組みを体感しながら学んだ。

学校ホームページのシステム導入などを行っているオープンソース・ワークショップ（東京）の永原篤社長（50）が講師を務め、情報通信科2年生38人に課題を三つ提供する形で授業を進

## ドローン自在に動かす

## プログラマー招く

めた。高さ1尺の紙の棒を倒す課題では、生徒がドローンの離陸や前進といった命令を組み合わせてプログラムを制作。実際に動かしながら誤りを見つけ、ドローンの移動距離を調整するなど試行錯誤を繰り返していた。

伊藤祐哉さん（16）は「自分が作ったプログラムでドローンが動く様子を見るのが楽しい。二つ目の課題もクリアしたい」と話していた。（川口御生）

# 楽しみながら知識吸収

## 鶴工生 ドローンプログラミングに挑戦



## 教室で「棒倒し」や「簡易宅配」

## 子どもたちに教えるような「学び」に

鶴岡市の鶴岡工業高校（阿部進校長）で16日、IT技術者を迎えたドローンプログラミング教室が行われ、情報通信科2年生38人がそれぞれドローンを動かす課題に挑戦した。約20分を教室で飛ばし、「棒倒し」や「簡易宅配」などの課題に挑戦した。

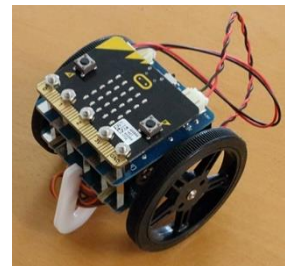
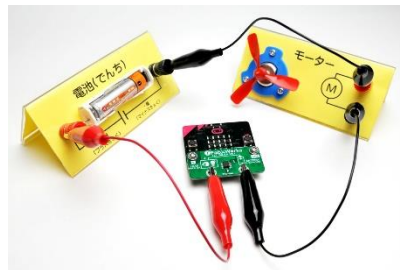
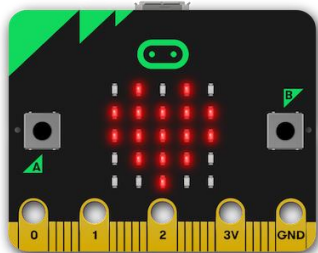
同校でドローンを使った初めての授業。1時間連日の第一級で活躍し、人材育成活動に力を入れているオープンソース・ワークショップ（東京）の永原篤社長（50）が講師を務めた。水原さん（16）は、無人宅配サービスに憧れていた。ドローンで想定されるドローンの活用について紹介した後、基本的なドローンプログラミングの指針を指し、生徒たちは3つの課題を与えられ、それぞれ作成したプログラムで実際にドローンを飛ばした。大判紙を丸めて立てた棒にドローンをぶつけて倒す「棒倒し」、三角形方向転換する「三角飛行」、山形県の市村地図の200マス×140マスを使ったドローンをプログラミングして「棒倒し」に挑戦

図上簡易宅配の課題を、3分のドローンを使って交代でやらせ、加藤さん（16）は、出発地点から上昇、10秒後に100マス前進し、5秒静止、下降して着陸するように動きの命令や教員を組んで、見事棒倒しに成功。各動作の間に数秒の待機時間を設けてドローンを安定させるなど、指導されたことを実践していた。「自分でプログラミングして物を動かすのは面白い。ドローンにも興味がある」とゲーム感覚で楽しんでいる。授業で、地図上簡易宅配の課題では、生徒それぞれが「宅配サレヌ者」となり、「宅配内を港を出発点に×印に宅配」なストーリーと飛行ルートを考え、目的地の市町村を飛ばさせるプログラミング飛行に挑戦した。同校情報通信科の齋藤秀志教師は「生徒たちがドローンの基本的なプログラム作成や操作を身に付け、地域の子もたちに教えるような学びの在り方を見つけたい」と話した。

# 現在進めているネタ

- **micro:bit**

- 英国発のシングルボードコンピュータ
- マウスのみのビジュアルプログラミングとJavaScriptの切り替え可能なエディタ
- Pythonエディタもある
- 温度や磁気センサー（方角）を標準装備
- センサーの追加やモーターとの組み合わせでかなり遊べます。



# micro:bit実演

- 温度センサーと条件分岐

The screenshot displays the Microsoft MakeCode editor interface for a micro:bit. The browser address bar shows the URL <https://makecode.microbit.org/#editor>. The interface includes a top navigation bar with 'micro:bit', 'ホーム', '共有', 'ブロック', and 'JavaScript' tabs. On the left, there is a visual representation of the micro:bit board with pins labeled 0, 1, 2, 3V, and GND. Below the board are icons for running, saving, and deleting. A central sidebar contains a search bar and a list of block categories: 基本, 入力, 音楽, LED, 無線, ループ, 論理, 変数, 計算, and 高度なブロック. The main workspace on the right shows a script starting with 'ボタン A が押されたとき'. It contains three conditional blocks: 'もし 温度 (°C) > 22 なら' (If temperature is greater than 22, display 'Hot!'), 'でなければもし 温度 (°C) > 16 なら' (Else if temperature is greater than 16, display 'Good!'), and 'でなければ' (Else, display 'Cold!'). At the bottom, there is a 'ダウンロード' (Download) button and a search bar containing '温度判定'.

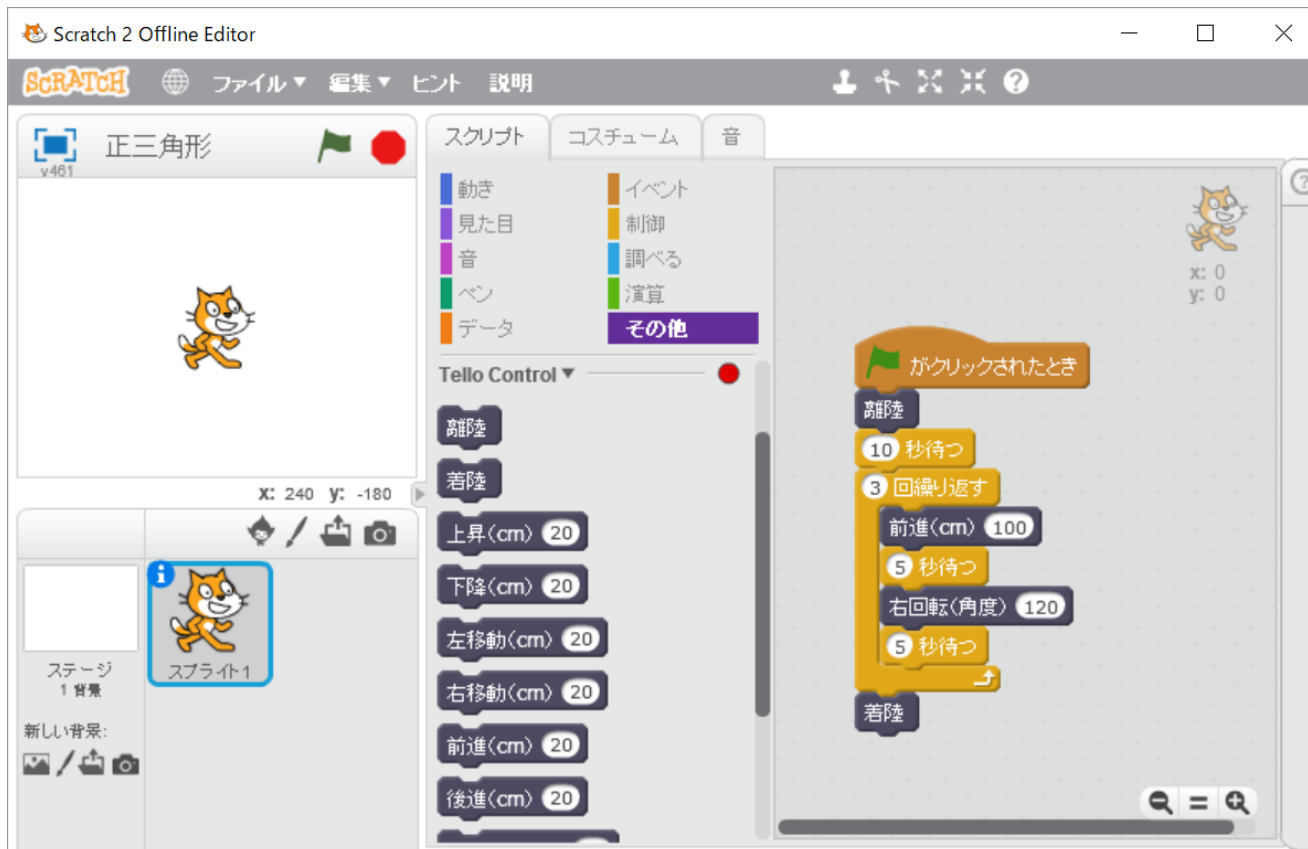
# micro:bitポイント

- プログラミングを通じた論理的思考
- センサーを使うことで、IT仕事への親近感
- OSSプログラマーの育成
- 単純にハードウェアを操作するのが楽しい。



# ドローンプログラミング実演

- 正三角形を描く Scratch プログラミング



# コード・プログラミング

---

- PHPでドローン制御
- センサーで値（高さ）を取得可能
- 実演

```
<?php↓
↓
// --- ここはそのまま↓
↓
require __DIR__.'../../include/header.php';↓
↓
// --- この下に命令を書きます。↓
↓
$tello->takeoff();↓
sleep(10);↓
↓
$tello->up(50);↓
sleep(5);↓
↓
$tello->left(50);↓
sleep(5);↓
↓
```

# プログラムの楽しさ、次世代技術

- 取得した高さを表示
- センサーで値を取得
- 値を使った条件式

自動運転車、宅配、  
ドローン自動車など、  
未来につながる  
ワクワク感を。

テストの上昇高さ:

高度の取得を実行

【実行結果】

```
takeoff
readTof=801mm

up 50f
readTof=1271mm

down 50f
readTof=750mm

rand
```

# ビジネスへ

---

- 学校を知り、学校とつながることで、学校向けビジネスを作っていきます。
- サービス提供、開発、講師など、いくつかのビジネスが発生すると考えています。
- 教育ICTワーキンググループでは、プログラミング授業の内容なども提案できるように活動を計画しています。



# ビジネス&教育ソリューション部会

## ビジネスアプリケーション

- ・ワーキンググループの紹介

株式会社ゼンク 代表取締役 増田 芳憲  
株式会社イージフ 取締役副社長 石井 昭紀

---

# 活動目標 その1

---

- アプリケーションの連携の模索
  - ※パッケージづくり
  - 会員が持つアプリケーションの連携を検討する
  - 具体的な事例を作る
  - それぞれの営業活動に組み込む

主な会員アプリケーション（ソリューション）

マインド MosP（勤怠管理）

イージフ Nemakiware（ファイル共有）

ウェブチップス シラサギ（CMS）

オープンソース・ソリューション・テクノロジー（認証系）

# 活動目標 その2

---

- 普及活動、営業活動

- ※代理店探し

- O S Cなどのイベント

- セミナーなどのP R（地域が望ましい）

- 地域の情報産業協会とのマッチングイベント

1. AI IoT Robotics Automotive部会
2. オープンCOBOLソリューション部会
3. 開発基盤部会
4. データベース部会
5. 東海支部
6. ビジネス&教育ソリューション部会
7. 分散コンピューティング部会



# 分散コンピューティング部会

---

分散コンピューティング部会 リーダー  
株式会社ノーチラス・テクノロジーズ  
目黒 雄一

- **分散コンピューティング部会は、その名の通り、分散コンピューティング技術に関する取り組みを行う部会です**
- **Hadoopやコンテナ技術など、幅広い分野に関する調査やイベントなどを行っています**
- **部会の紹介と合わせて、2018年度の活動実績と2019年度の活動予定を紹介いたします。**

## 分散コンピューティング部会の紹介



- 国産OSSでHadoop/Sparkの運用・開発フレームワークである「Asakusa Framework」を中心とした部会として2014年に設立
- 分散処理界隈で様々なツールが登場、活用される場面が増えてきたので、より範囲を拡大して分散処理全体を対象とした部会へと2017年度よりテーマを拡張
- 主な参加企業
  - アクセンチュア株式会社、KPMGコンサルティング株式会社、新日鉄住金ソリューションズ株式会社、東芝デジタルソリューションズ株式会社、株式会社ノーチラス・テクノロジーズ、株式会社日立ソリューションズ(五十音順)

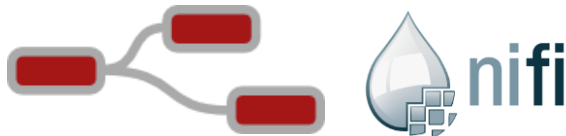


# 分散コンピューティング関連技術(の一部)



elasticsearch kibana

検索/可視化



データフロー



AI/Deep Learning



分散バッチ



分散ストリーム

presto



分散クエリエンジン



カラムナ・フォーマット/  
ストレージエンジン



Dockerコンテナ &  
スケジューリング

## 昨年度の活動成果



## ■ 部会開催

- 分散処理をテーマとした最新情報の共有
  - ゲストを招いて、部会内での勉強会のような取り組みも実施しています
  - 今期は、新しい分散データベースの開発についても取り上げました
- 技術情報及びビジネス情報の情報交換
- 勉強会の開催(セミナー形式)

## ■ 第二回 大規模OLTPユーザ会

- 勉強会のプログラム
- 参加者 25名
- 勉強会の様子



### ■ 開催概要

- 日時:2019年2月8日(金) 13:00~15:00
- 会場:NEC 芝倶楽部 301会議室

### ■ 開催内容

- OSSとして、大規模OLTPの開発がNEDOの案件に採択され、プロジェクトが開始されました。そのプロジェクトの概要と、現在の開発状況、アーキテクチャの紹介などをおこないました。
- 今後、OLTPの開発コミュニティと分散コンピューティング部会で連携してイベント等を開催していく予定です。

## 2019年度の活動



## ■ 活動予定

### ■ 部会

- 隔月に都内近郊で開催
- 技術情報・ビジネス情報の交換、勉強会企画など

### ■ 勉強会の開催

- 第3回分散コンピューティング勉強会(仮)

### ■ その他

- 分散コンピューティングの取り組みを持つ方たちとの交流

## ■ リーダー

- 株式会社ノーチラス・テクノロジーズ 目黒 雄一
- 株式会社日立ソリューションズ 才所 秀明

**一緒に活動して頂ける方は、是非ご連絡を！**

